



第2回東北教育旅行セミナー



次は「15：30」より

プログラム9
「だからこそ福島県で学ぶ」
(福島県観光物産協会)



「だからこそ福島県」で学ぶ

～福島県教育旅行の現状と取組み～

令和3年1月21日

福島県

■ 説明内容



- ① 教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ
- ② ふくしまオンラインの教育旅行プログラム
「ホープツーリズム」
- ③ お役立ち情報

■ 説明内容



- ① 教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ**
- ② ふくしまオンラインの教育旅行プログラム
「ホープツーリズム」**
- ③ お役立ち情報**

①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■ H30年度 教育旅行入込実績の推移(全国)



例年多くの学校様に お越しいただいております

会津の歴史学習

鶴ヶ城



飯盛山



さざえ堂



會津藩校日新館



野口英世記念館



①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■ 会津若松の自主研修について

◆パンフレット「あいばせ」

「まちあるきマップ」
「あいばせ」



◆交通手段

ハイカラさん



あかべえ



レンタサイクル



タクシー各社



◆まちなか案内所



鶴ヶ城観光案内所



飯盛山観光案内所

◆伝統工芸品 体験



赤べこ



起き上がり小法師

◆会津のグルメ



ソースカツ丼



①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■自然体験・アクティビティ

①裏磐梯

登山



リバートレッキング



トレッキング



カヌー・カヤック



②南会津町

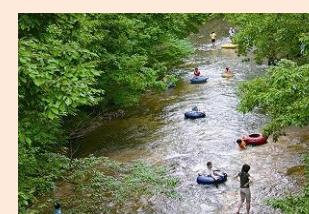
林業体験



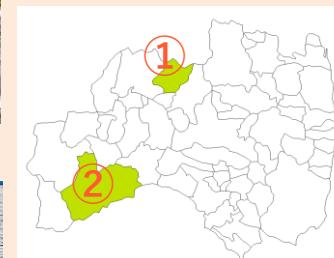
渓流釣り



タイヤチューブラフティング



尾瀬ハイキング



■農家民泊・農業体験

①喜多方市

喜多方グリーンツーリズム
・サポートセンター
農家民泊：150名
農業体験：300名

②猪苗代町

猪苗代観光協会
農業体験：200名

③二本松市東和

東和地域グリーンツーリズム
推進協議会
農家民泊：120名
農業体験：200名

④南会津町

株式会社
みなみあいづ
農家民泊：250名

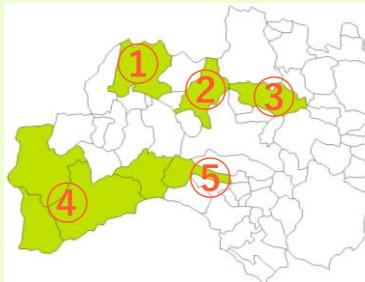
⑤天栄村

天栄村ふるさと
子ども夢学校推進協議会
農家民泊：70名
農業体験：150名

ジャガイモ堀り体験



農家さんと昼食



田植え



冬期の雪国生活体験
カンジキや雪かき体験など



①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■スキ一体験 主な教育旅行受入地

【スキー場】：教育旅行で主に活用されているスキー場

①裏磐梯（北塩原村）



【スキー場】

- ①グランデコスノーリゾート（オンザグレンデ）
※11月下旬～
- ②裏磐梯スキー場
※12月下旬～
- ③星野リゾート猫魔スキー場
※12月中旬～

②二本松市



【スキー場】

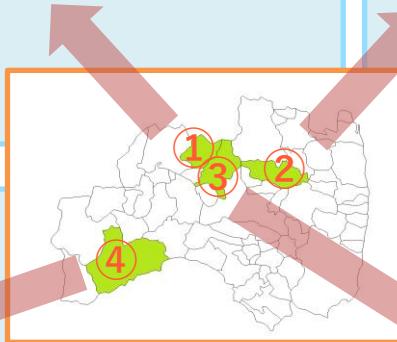
- ①あだたら高原スキー場
※12月中旬～

④南会津町



【スキー場】

- ①会津高原南郷スキー場
※12月下旬～
- ②会津高原たかつえスキー場（オンザグレンデ）
※12月下旬～
- ③会津高原だいくらスキー場（オンザグレンデ）
※12月下旬～



③猪苗代町



【スキー場】

- ①箕輪スキー場（オンザグレンデ）
※11月下旬～
- ②リステルスキーファンタジア（オンザグレンデ）
※12月下旬～
- ③猪苗代スキー場（徒歩圏内にホテルあり）
※12月下旬～
- ④星野リゾートアルツ磐梯
※12月下旬～
- ⑤猪苗代リゾートスキー場
※12月下旬～

2 会津エリア コンテンツ

■ 「SDGs 教育旅行プログラム」

触れる地球～SDGsの概要、地球規模の問題を学ぶ～
(コミュタン福島 ※福島県環境創造センター)：三春町



女性議員率 貧困線以下の人口率



富良野自然塾 裏磐梯校
(グランデコリゾート：裏磐梯)



★：宿泊先指定のプログラム！

★ 口バス食育環境プログラム
～Mirai Food Scenario 100～
(ActiveResorts裏磐梯：裏磐梯)



★ 感染症プログラム
(野口英世記念館：猪苗代)



★ STEAM教育プログラム
～サルバドール・ダリと原子力時代
(諸橋近代美術館：裏磐梯)

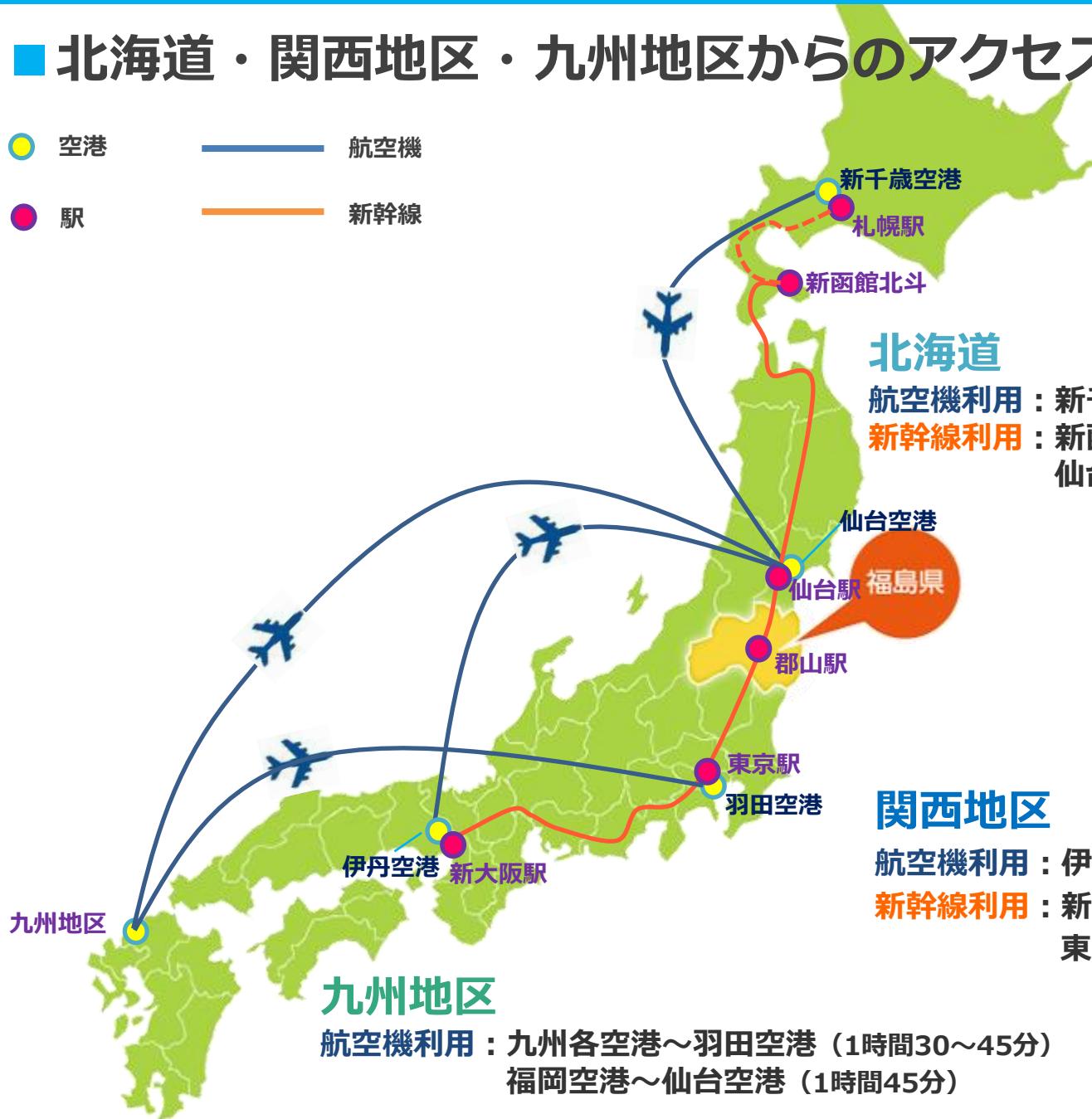
★ 冬期休館（11月中旬～4月中旬 予定）



①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■ 北海道・関西地区・九州地区からのアクセス

- 空港
- 駅
- 航空機
- 新幹線



①教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ

■仙台空港・東京駅からのアクセス



【仙台空港IC～バス移動】

②二本松市 東北縦貫自動車道→東北自動車道
移動(1時間50分)・休憩(1回15分)・予備時間(10分)

【東京駅～バス移動】※4時間前後

①裏磐梯 首都高速道→東北自動車道→磐越自動車道
移動(3時間45分)・休憩(2回30分)・予備時間(10分)

②二本松市 首都高速道→東北自動車道
移動(3時間15分)・休憩(2回30分)・予備時間(10分)

③猪苗代町 首都高速道→東北自動車道→磐越自動車道
移動(3時間30分)・休憩(2回30分)・予備時間(10分)

④南会津町 首都高速道→東北自動車道→国道400号→国道121号
移動(3時間15分)・休憩(2回30分)・予備時間(10分)

■ 説明内容



- ① 教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ
- ② ふくしまオンラインの教育旅行プログラム
「ホープツーリズム」
- ③ お役立ち情報

②ふくしまオンラインの教育旅行プログラム「ホープツーリズム」



アクティブラーニングの手法を用いた
「主体的・対話的で深い学び、探求学習」に完全対応
ホープツーリズム (教育旅行版)

学び

×

福島

=

希望



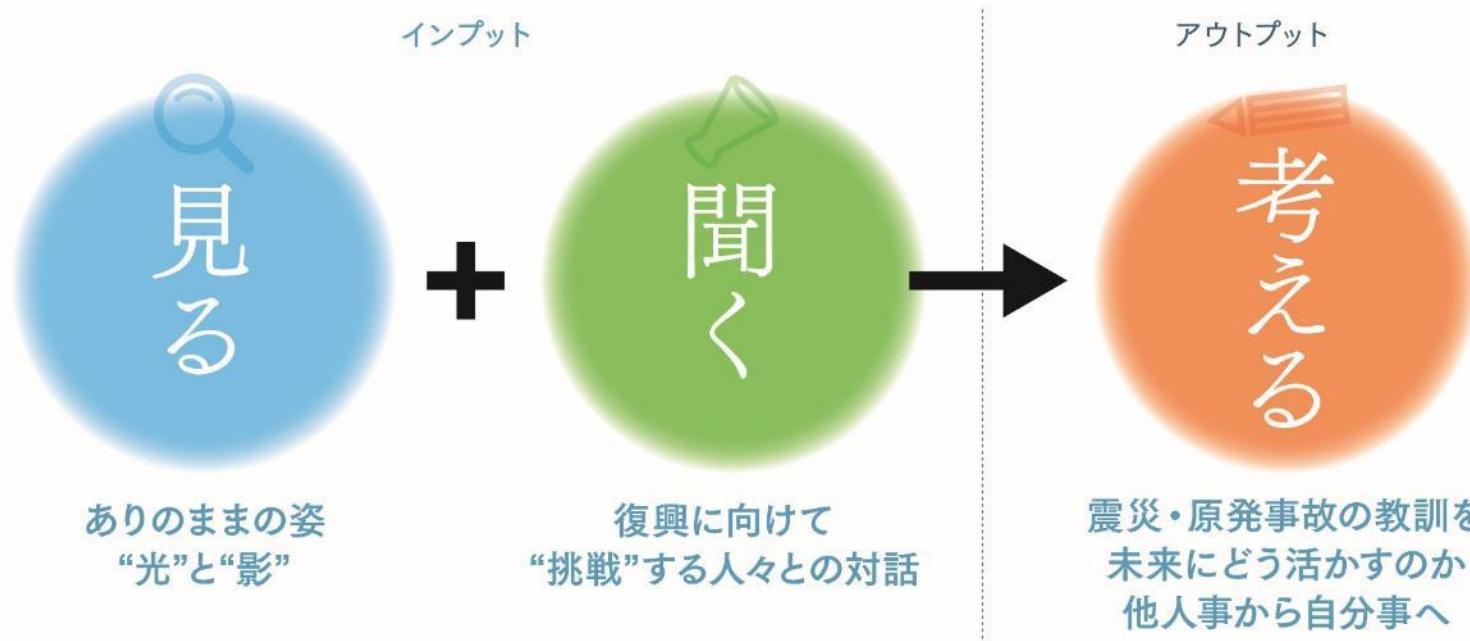
ホープツーリズムとは

～世界初の複合災害からの学びを私達は敢えて、「震災学習」と呼ばない。福島でしか学べないことが本当にあるから～

世界初の複合災害（地震・津波・原発事故・風評被害）を経験した唯一の場所
その事実、記憶、教訓からの学びは「震災・防災学習」の枠では収まらない
～教訓からこれからの持続可能な社会・地域づくりを考える～

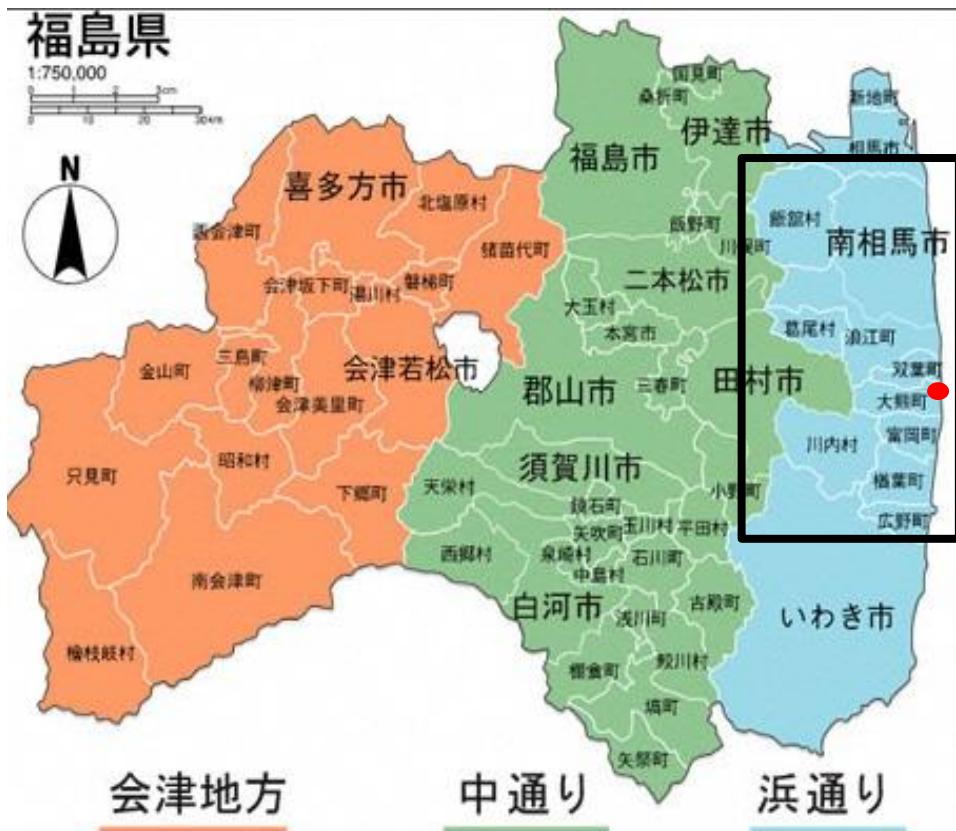
ふくしまオンラインの教育旅行プログラム

福島の「ありのままの姿（光と影）」と、前例のない困難な状況の中でも「復興に向け挑戦し続ける福島の人々との対話」を通したインプット。自分の目と耳で見聞きした福島の状況を踏まえ「震災・原発事故の教訓を自分事として未来にどう活かすか」を考えるアウトプット。福島を訪れて感じる希望は、参加者自身の「明日への原動力」となり、成長へと繋がります。



ホープツーリズムのメインフィールド

メインフィールドは浜通り・阿武隈地域(震災・原発事故の被災地域)



大熊町

- 避難指示解除準備区域
居住制限区域
→2019年4月10日解除
- 帰還困難区域の一部
(JR大野駅周辺)
→2020年3月5日解除

双葉町

- 避難指示解除準備区域
- 帰還困難区域の一部
(JR双葉駅周辺)
→2020年3月4日解除

富岡町

- 帰還困難区域の一部
(JR夜ノ森駅周辺)
→2020年3月10日解除

ホープツーリズム 「見る」の視点

光も、影も。
「報道だけでは
分からぬ」
福島の今を

見る

●被災地域の姿

▼帰還困難区域など～原発事故がもたらした現実



国道6号



富岡町・夜の森地区

▼避難指示解除後の地域など～復興への息吹や課題、日常の風景から感じること



フィールドワーク



除染土が詰まつた
フレコシバグ

震災・原発事故の概要や教訓、福島の現状
(放射線、環境回復等)を学ぶ施設



東京電力「廃炉資料館」



東日本大震災・原子力災害伝承館
※2020年9月20日開館

●福島第一、第二原発の現状



●復興を担う新しい産業

▼廃炉への技術開発



稲葉遠隔技術開発センター

▼再生エネルギーの推進



富岡復興メガソーラー
・SAKURA

▼災害用ロボット等の
一大研究開発拠点



ロボットテストフィールド

▼交流人口の拡大



・Nireegeji

挑戦を続ける
大人たち。
福島の「想い」を



ホープツーリズム「聞く」の視点

〈医療・福祉〉 リーダーの決断と葛藤



南相馬市立総合病院 院長 及川 友好さん

原発から23kmに位置する中核病院に勤務。緊急時のリーダーシップを語る。

〈農業〉 必ずこの地で再生させる



畜産農家 山田 猛史さん

ブランド牛として高い評価を受けていた「飯館牛」の復活に向けた取組と想いを語る。

〈防災・減災〉 震災を人権の視点で捉える



福島大学 特任教授 天野 和彦さん

ビッグパレットふくしま避難所の運営責任者。避難所運営の実体験を踏まえ、避難所運営シミュレーション教材を開発。

〈地域づくり〉 人々を繋ぐ“結”の精神



(一社)葛力創造舎 代表理事 下枝 浩徳さん

人口の急激な減少に直面する葛尾村の地域コミュニティを再構築するため、支え合いの精神“結”をヒントに事業を展開。



〈東京電力職員との対話〉 福島第一原発の今

福島第一原発の廃炉状況・復興に向けた取組についての説明を受ける。率直な疑問等について“直接”東京電力職員と対話する。

福島の問題を 「他人事」から 「自分事」へ

震災・原発事故により顕著化した様々な社会課題（人口減、高齢化、地域の減衰、エネルギー等）は、果たして…福島だけの問題なのか？



福島だけでなく日本やそれぞれの地域が抱え・解決すべき問題

“課題の先進地、福島”でのフィールド学習を通して、次世代を担う自分達はどんな未来を創って行きたいかを考えるアウトプット。

★持ち帰り・学びの成果★

- 社会課題は簡単に解決しないが（“もやもや感”）、「考え続けること（探究心・自分事化）」が重要。
- 社会課題は立場や考え方によって様々な意見がある。**多様性の尊重と対話の重要性。**
～AorBの二者択一ではなく、議論によって第三の道(C)が開かれることもある。
- 情報過多の社会において、**物事の本質を見極める力や判断力（リテラシー）**
～情報とどう向き合い判断するか。自分で見聞きした生の情報の重要性。
- 変化や逆境への向き合い方（人生観・生き方）**
～進路選択や生き方について希望と不安の挟間に立つ生徒に挑戦することの大切さを伝える。

福島で感じた希望。それは明日の学びの原動力・・生徒自身の成長へ！

考
え
る

新施設！！OPEN「東日本大震災・原子力災害伝承館」

■東日本大震災・原子力災害伝承館までのアクセス



東日本大震災・原子力災害伝承館を核とした「学年行事対応」のホープツーリズム

※①～③のプログラムを取捨選択→組合わせることで、数時間～2日のオーダーメイドの行程作成が可能

※6クラス（バス6台・240名程度）を例にして掲載

①【共通】伝承館プログラム（インプット）

伝承館の一般研修プログラムで
震災・原発事故、復興の全体像を把握

1ガイダンス(20分)

震災・原発事故の基礎知識の伝達、
学びの意識付け

※バス車内など



2-1 展示見学(60-70分)

映像や展示などの豊富な資料から、
震災・原発事故直後から現在までの
経過・復興のあゆみの全体像を学ぶ



2-2 フィールドワーク(60-70分)

避難指示解除後の地域の現状・課題
を五感で体感する
※バスにアテンダーが同乗し解説



2-3 語り部講話(40分)

被災を経験した住民講話から
震災・原発事故の記憶や教訓、
復興の現状・課題を知る



②【選択】周辺地域での選択プログラム（インプット）

1～2クラスに分かれて、選択学習(3～6コース)を実施（移動時間を含め、2～3時間程度）

- 一定の分野(テーマ)に焦点を当て、複合災害が与えた影響、復興への挑戦を学ぶ
 - ※分野例(地域づくり、農林水産、医療福祉、廃炉、再エネ、環境回復、教育、新産業など)
 - ※各分野のHMとの対話+施設見学など
- 各自治体に焦点を当て、避難指示解除の時期により復興の現状・課題が異なる地域を学ぶ
 - ※新しいまちづくりに挑戦する地域団体(HM)との対話+フィールドワークなど

③【共通】まとめのワークショップ等（アウトプット）

震災・原発事故の教訓をこれから持続可能な社会・地域づくり等にどう活かすか考える
～他人事→自分事化へ～（60分～）

- ※ツアーチ、伝承館や近隣、宿泊先の会議室を使用／学校に帰ってからの事後学習を活用
- ※伝承館プログラムにもワークショップのメニュー有り
- まとめのワークショップ
- 避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」を活用したワークショップ

1. ホープツーリズムと会津エリアのモデルコース (2泊3日)

日程	行程	宿泊先
1日目	<p>8:00 常磐道 11:30～12:40 東京駅～広野IC～楢葉町/Jヴィレッジ（昼食・50分）～国道6号～双葉町/東日本大震災・原子力災害伝承館及び周辺（鍛冶橋駐車場）※途中守谷SA、中郷SA休憩 13:30～17:10（2020年9月双葉町にオープン）</p> <p>18:00 Jヴィレッジ（泊）</p> <p>■ホテルにて アウトプット（振り返り）60分 ■夕食後オプション 避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」を活用したワークショップ（90分）</p> <p>■13:30～13:50 ガイダンス（バス車内20分） ■14:00～17:00（3班に分かれてローテーション） ・館内見学（60分）・フィールドワーク（60分） ・語り部との対話（40分）</p>	楢葉町
2日目	<p>8:30 9:20～12:00 ※約2時間40分（移動時間・昼食含む） 14:30 ホテル～震災・原発事故の被災地での選択学習～猪苗代町</p> <p>※富岡町以北を訪問する場合は国道6号（一部、帰還困難区域）を通過</p> <p>分野（テーマ）又は訪問する自治体を選択し、1～2クラス分かれて実施。 テーマに応じたヒューマンとの対話、フィールドワーク、施設見学など</p> <p>磐梯山周辺で学ぶSDGsプログラム</p> <p>専門家から学ぶテーマ別選択コース</p> <p>◎付きのプログラムは、宿泊施設限定。詳しくは（公財）福島県観光物産交流協会へ問い合わせを</p> <p>【自然環境・探究学習】 (15:15～16:45 グランデコ東急リゾートに於いて) ①「富良野自然塾裏磐梯校プログラム」：雄大なフィールドで五感を使い地球の歴史を学ぶ (15:00～16:45) ②「五色沼自然探勝路散策プログラム」：五色沼の湖沼群から豊かな自然を学ぶ</p> <p>【学びの創出・探究学習】 (15:10～16:45 磐梯山噴火記念館に於いて) ③「火山噴火防災講話プログラム」 (15:00～16:30 野口英世記念館に於いて) ④「◎感染症プログラム」：感染症の歴史等から現代を学ぶ (15:00～15:50 諸橋近代美術館に於いて) (16:00～16:30 ホテル内に於いて) ⑤「◎STEAM教育プログラム」＝「赤べこ絵付け体験」：分野横断的に芸術を学び、地元工芸品で表現</p> <p>17:00 ホテル（泊）</p> <p>18:00～18:30 「◎口バス食育環境プログラム」 食の課題を知り食を見直す機会に触れる 口バスコンシェルジュ監修</p>	裏磐梯
3日目	<p>8:15 9:00～10:00 10:30～11:40 11:50～13:00 ホテル～会津若松市/會津藩校日新館～鶴ヶ城・鶴ヶ城会館（昼食・50分）～会津若松IC～郡山JCT～東京駅（鍛冶橋駐車場）</p> <p>■「ならぬことはならぬ」の精神「什の掟」をはじめ、武家社会からリーダーの在り方を学ぶ</p>	

23

2-1. ホープツーリズムと会津エリアのモデルコース (2泊3日)

2-2.ホープツーリズムと会津エリアのモデルコース クラス別選択コース（2泊3日）

日程	行程					宿泊先	
2日目	8:30 スパリゾートハワイアンズ ===== 「クラス別選択コース」 =====					会津若松市	
	①自然環境学習 ※磐梯山噴火による自然の厳しさと恵み。原子力災害との違いとこれからの未来を考える	10:30~11:30 ===== 磐梯山噴火記念館 ===== 11:40~12:30 北塩原村（昼食） 12:45~14:15 五色沼散策 14:30~15:50 カヤック体験 17:00 会津若松市（泊）					
	■防災講話 ■施設見学 ■ガイド付き						
	②歴史学習 ※地域住民が一丸となって守る持続可能な会津の歴史。過去を学び現代・未来を考える	10:40 ===== 鶴ヶ城会館 ===== 11:00~12:00 鶴ヶ城 12:30~ 会津若松市内班別研修 16:40 鶴ヶ城会館（集合） 17:00 会津若松市（泊） ■昼食 ■七日町通り散策・飯盛山など ■赤べこ絵付け体験など					
	③職業体験 ※年間80万人もの来客実績のある観光地の魅力を知り、更に、職業体験を行うことで自分の地域の観光活性化について考える	11:10~16:00 ===== 大内宿 ===== 17:00 会津若松市（泊） ■江戸時代の宿場を今に残す大内宿の見学と職業体験 ■昼食					
	④農業体験 ※生きていくために欠かせない農業を持続可能にするため、農業の現状・課題や喜びを体感する	10:40~16:10 ===== 喜多方市（1日農業体験）===== 17:00 会津若松市（泊） ■入村式 ■各農家で農業体験（昼食） ■離村式					
	⑤産業学習 ※良質の水と米に恵まれた土地ならではの醸造業を営む場として多くの蔵がある。昔から受け継がれる、暮らしの知恵と文化を学ぶ	10:50~11:30 ===== 喜多方蔵の里 ===== 11:45 西四ツ谷観光駐車場 12:00~16:00 喜多方市内班別自主研修 17:00 会津若松（泊） ■バス駐車場 ■昼食 ■喜多方ラーメン館 ■蒔絵体験 ■大和川酒造北方風土館 ■遊印づくり体験 ■せんべい炭火焼き体験など					
	⑥再生可能エネルギー学習 ※県内エネルギー100%需要を再生可能エネルギーで賄うことを目標としている福島県から山間部でのエネルギー発電を学ぶ	11:00~12:00 ===== 奥会津水力館みおり ===== 12:10~13:00 道の駅奥会津かねやま（昼食） 13:50~14:20 柳津西山地熱発電所PR館 15:00~16:10 ===== つきみが丘町民センター ===== 17:00 会津若松市（泊） ■赤べこ絵付け体験又は あわまんじゅう作り					

3-1.ホープツーリズムと「いわき市」又は「会津若松市」のモデルコース(2泊3日)

日 程	行 程	宿 泊 先
1日目	<p>8:00 常磐道 11:30～12:40 東京駅＝＝広野IC＝＝楢葉町/ Jヴィレッジ (昼食・50分) ＝＝国道6号＝＝双葉町/東日本大震災・原子力災害伝承館及び周辺＝＝ (鍛冶橋駐車場) ※途中守谷SA、中郷SA休憩</p> <p>13:30～17:10 ～一部、帰還困難区域通行～</p> <p>■13:30～13:50 ガイダンス(バス車内20分) ■14:00～17:00 (3班に分かれてローテーション) ・館内見学(60分) ・フィールドワーク(60分) ・語り部との対話(40分)</p> <p>18:00 ＝＝ Jヴィレッジ (泊)</p> <p>■ホテルにて アウトプット(振り返り) 60分 ■夕食後オプション 避難所運営シミュレーション教材「さすけなぶる」を活用したワークショップ(90分)</p>	楢葉町
2日目	<p>8:30 9:20～13:20 ※4時間 (移動・昼食時間含む) ホテル＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝震災・原発事故の被災地での選択学習＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝</p> <p>※富岡町以北を訪問する場合は国道6号 (一部、帰還困難区域) を通過</p> <p>■分野(テーマ)又は訪問する自治体を選択、1～2クラスに分けて実施 ■テーマに応じたヒューマンとの対話、フィールドワーク、施設見学など</p> <p>14:00～16:20 常磐道 17:30 ＝＝＝＝浪江町／浪江町地域スポーツセンター＝＝＝＝浪江IC＝＝＝＝いわき湯本IC＝＝＝＝スパリゾートハワイアンズ (泊)</p> <p>■選択学習の共有(振り返り、ワークショップ) 14:10～16:10</p>	いわき湯本
3日目	<p>8:30 11:10～12:20 ①ホテル＝＝「いわき市コース」(次ページ参照) ＝＝＝＝いわき・ら・ら・ミュウ (昼食・50分) ＝＝</p> <p>12:40～14:10 常磐道・他 17:30頃 ＝＝＝＝環境水族館アクアマリンふくしま＝＝＝＝いわき勿来IC＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝東京駅 (鍛冶橋駐車場) ※途中、友部SA、守谷SAで休憩</p> <p>8:30 常磐道 磐越道 10:40～11:40 11:50～13:00 ②ホテル＝＝いわき湯本IC＝＝いわきJCT＝＝会津若松IC＝＝会津若松市/鶴ヶ城・・鶴ヶ城会館 (昼食・50分) ＝</p> <p>磐越道 東北道・他 17:30頃 ＝＝＝＝＝会津若松IC＝＝郡山JCT＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝東京駅 (鍛冶橋駐車場) ※途中、那須高原SA、羽生PAで休憩</p>	26

3-2.ホープツーリズムと「いわき市」又は「会津若松市」のモデルコース いわき市コース(2泊3日)

日程	行程
	<p>8:30 スパリゾートハワイアンズ</p> <p>9:00頃より約90分 (各コース 2 クラス程度対応可)</p> <p>「いわき市コース」</p> <p>11:10～12:30 == 11:10集合：いわき・ら・ら・ミュウ (昼食・50分)</p> <p>=====</p>
3日目	<p>①歴史学習 国宝 白水阿弥陀堂 (所要時間：約60分) ※拝観料あり</p> <p>福島県内で唯一の国宝建造物。岩城則道公の妻、徳姫が夫の供養のために建立したといわれる、平安後期(1160年)の代表的な阿弥陀建築と、平安時代の極楽浄土を思わせる庭園は歴史を深く感じることができます。堂内では、住職や僧侶が、白水阿弥陀堂の由来をはじめ、仏像について学年にあわせて話をしてくれます。</p>
	<p>②収穫体験＆再生可能エネルギー学習 JRとまとランドいわきファーム ○トマト収穫体験 (所要時間：約30分) ○見学プラン (所要時間：約30分)</p> <p>○トマト収穫体験：全国でもトップクラスの年間日照時間を誇るいわき市。大型のハウストマトで約9種類のトマトを収穫できます。(2013年～) ○太陽光利用型植物工場の見学と、太陽光を活用し、安定した収穫を見込んだトマト栽培について話を聞くことができます。</p>
	<p>③産業遺産（ヘリテージ）学習 常磐炭鉱産業遺産フィールド学習 (所要時間：約60分～要相談) ※ガイド無料</p> <p>本州最大の炭田として日本の産業発展の原動力として経済支えた常磐炭田。「いわきヘリテージ・ツーリズム協議会」ガイドとともに、エネルギー革命による需要減のため閉山(1971年)となった「常磐炭鉱の産業遺産」について学ぶことができます。</p>

■ 説明内容



- ① 教育旅行の現状・会津エリアコンテンツ
- ② ふくしまオンラインの教育旅行プログラム
「ホープツーリズム」
- ③ **お役立ち情報**

③お役立ち情報

県外からの教育旅行・合宿の移動に係るバス経費の一部を補助する 「福島県教育旅行復興事業」

修学旅行・宿泊学習・合宿等で福島県を訪れる県外の学校の皆さんへ

バス経費の一部を 補助します

福島県教育旅行復興事業のご案内

補助の対象期間
2020年 4月1日(水)から 2021年 3月31日(水)までに
実施し終了するもの

※実施日を問わず申請の受け付けは先着順とし、期間内であっても
予算がなくなり次第終了となります。

申請書は随時受付中です。
詳しくはホームページをご確認ください。

補助の対象団体と内容

修学旅行・宿泊学習等
●「県外の小学校・中学校・高等学校」
NEW 合宿
●「県外の中学校・高等学校の部活動」
●「県外の短期大学・大学等の部活動・正課授業の
ゼミ・公認サークル」
・バス1台当たり経費の2分の1、又は地域ごとの補助上限額(別表
参照)を助成(1校当たり台数の上限なし)
※ただし、参加人数が10名未満の場合、補助上限額は半額となります。
NEW 福島県浜通りの宿泊を1泊以上含む場合は、補助上限額に各1万
円を加算する※浜通り(相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大
熊町、双葉町、浪江町、葛岡村、新地町、飯塙村、いわき市)

申請に関する
お問い合わせ先

福島県教育旅行復興事業事務局
〒960-2153 福島県福島市庄野字清水尻1-10
TEL 024-563-1172 受付時間 8:30~17:15
FAX 024-593-5502 E-mail fks.kr.rw.office@gmail.com
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031a/kyouiku-02.html>

「福島県教育旅行復興事業」に関するお問い合わせ先 福島県総合文化交流課 〒960-8670 福島県福島市杉坂町2-16 TEL 024-521-7398

1.補助の対象

(1) 修学旅行・宿泊学習等

福島県外の小・中・高等学校

(2) 合宿

福島県外の中学校・高等学校の部活動

福島県外の短期大学・大学等の部活動・正課授業のゼミ・公認サークル

2.補助の内容

(1) バス1台当たり経費の2分の1、又は地域ごとの補助上限額(別表参照)を助成
(1校当たり台数の上限なし)

(2) 福島県浜通り(沿岸地域)の宿泊を1泊以上含む場合は、
補助上限額に各1万円を加算する



バス1台あたりの補助金額◎1学校当たり台数上限なし

エリア	補助上限額 (新規校)	補助上限額 (継続校)
東北	40,000円	30,000円
関東・中部	60,000円	50,000円
北海道・関西 ・中国・四国	100,000円	100,000円
九州・沖縄	150,000円	150,000円

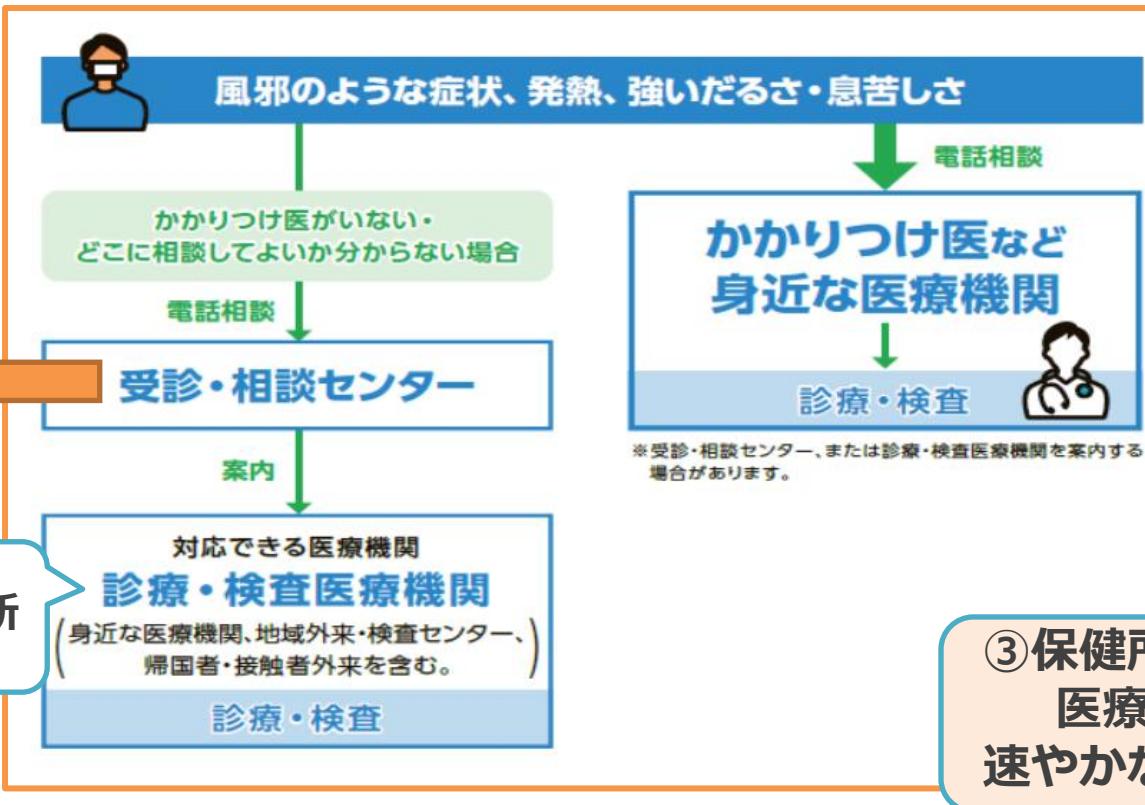
③お役立ち情報

新型コロナウイル感染症が疑われた場合

こんな症状が現れたら

令和2年12月11日時点

風邪のような症状、発熱、強いだるさ、息苦しさ の強い症状のいずれかがある場合



福島県の主な体制

①PCR検査
1日最大2,204人分
検査可能

②629床の
陽性患者に対応で
きる病床等を確保

③保健所と全消防機関とが協定
医療機関への搬送含め、
速やかな治療が受けられる体制

受診・相談センター（24時間体制） ☎ 0120-567-747

※または、見学施設・宿泊施設の職員より最寄りのかかりつけ医を確認し連絡

③お役立ち情報

お問合せ先

(公財) 福島県観光物産交流協会 観光部

教育旅行ワンストップ窓口
(教育旅行推進課)

TEL 024-525-4024
アドレス tabiiku@tif.ne.jp



ふくしま教育旅行

検索

ホープツーリズムについての窓口
(ホープツーリズム推進課)

TEL 024-525-4060
アドレス hopetourism@tif.ne.jp



福島県ホープツーリズム

検索

31/30

ご清聴
ありがとうございました。

